

前期の授業の紹介（3コース共通必修科目より）

前期の授業が終了しました。終わってみると、あっという間に過ぎたように感じます。初めて知ることや学びを深めたことが多くあり、充実した毎日を送ることができました。以下は、前期の共通必修科目の授業内容振り返ります。

科目名	授業内容概略
特別支援教育の基礎と課題 (日野先生・中島先生)	通常学級に在籍する特別なニーズを持つ幼児及び児童生徒に対する理解と、通常学級における配慮や支援・指導について考えることを通して、特別支援教育の基礎について理解していきました。これまでの自分の実践を振り返り、自らの実践課題をまとめることができました。
授業づくりと学級経営の基礎と課題 (米田先生・竜田先生)	Q・U理論を中心に、学級経営の方法や授業づくりについて学びました。現職教員は、自身のこれまでの学級経営や授業実践を紹介し、ストレートマスターは、現職教員の発表の中から何の課題を見つけて発表しました。
教育経営の基礎と課題 (平田先生・中島先生)	近年の教育経営改革の方向性を踏まえ、5つの改革領域と15の改革事項に関して、現職教員とストレートマスターのグループ発表を通して学び合いました。
教職キャリアデザインの基礎と課題 (中島先生・上野先生)	教員にとってのキャリアとは何かということを理解し、自らの学校における役割を確認しました。これからの教員人生とともに、自分の人生設計を見つめ直す良い機会となりました。
現代的な学力観と授業実践の基礎と課題 (岡先生・佐長先生)	戦後初期から現代まで、年代ごとに変遷してきた学力観とその背景、学習指導要領の変化、学習理論を理解したり、佐賀県の学力の状況を踏まえ、必要な教授や学習指導について考えたりしました。
子どもの学び意欲の基礎と課題 (井邑先生・中尾先生)	子どもの学び意欲に関する理論を学びました。「学習意欲」をテーマに期待と価値理論の関係や、自己決定理論など、様々な視点から考察し、発表を行うことで、学習意欲に対する多面的な見方を持つことができました。
教育課程編成の基礎と課題 (佐長先生・岡先生)	教育課程の編成及びカリキュラムの概念等について学びました。新しい学習理論を問い直し、新たなカリキュラム開発の可能性について考察しました。凝り固まった見方や考え方をほぐし、新しい視点からカリキュラムを見ていくことができました。



夏休み前の大掃除

夏休みに入る前に、現職職員とストレートマスターみんなの力を1つにして、大掃除を行いました。普段の掃除では行き届かない部分も大掛かりに行いました。床磨きやエアコンの掃除と夏の暑さが重なり大変でしたが、手を抜かずに汗だくになりながらの時間で、終了後は見違えるようにきれいになりました。今回の大掃除によってきれいになった研究室や共同演習室で後期も頑張っていきます。

